

名城公園遺跡 発掘調査通信

第1号 名城公園遺跡の発掘調査が始まりました

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
前田建設工業株式会社

1月20日から、名城公園遺跡での発掘調査が本格的に始まりました。この発掘調査は、愛知県新体育館建設にともなう事業で、6月までの予定で進めています。

遺跡の場所は、江戸時代は尾張藩の下御深井御庭（したおふけおにわ）、明治時代以降は陸軍の名古屋城北練兵場があったことで知られています。そして令和3年10月～12月に行われた試掘調査によって、古墳時代を中心とする遺構や遺物（これらを埋蔵文化財といいます）の存在があきらかになりました。これにともない本格的な発掘調査に着手しました。

発掘調査はまず重機で表土を掘り下げ、一定の地層に達したところで遺構検出（遺構を探す作業）を行います。現在は主に遺構検出を進めていますが、古墳時代中期（約1,500年前）の須恵器などの遺物が出土しています。

発掘調査期間中は、何かとご不便をおかけすることになりますが、安全な作業に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



写真1 遺構検出作業（遺構を探しています）



写真2 出土した須恵器（すえき）

※『名城公園遺跡発掘調査通信』は、愛知県埋蔵文化財センターのホームページ
(<http://www.maibun.com>) からPDF版をダウンロードすることができます。